

子どもと教育をまもる山口県民会議ニュース

NO. 133 2022年8月22日

事務局 山口県高等学校教員組合

(TEL 083-922-0766 / FAX 083-922-5447 / e-mail koukyoso@mocha.ocn.ne.jp)

教育委員会キャラバン報告 5/12 - 27

教育予算増・教員不足と多忙化解消

ジェンダーフリーの視点で人権保障を

「子どもと教育をまもる山口県民会議」は、5月12日（木）から27日（金）にかけて、県教育委員会・各市町教育委員会を訪問し懇談しました。全6日間でのキャラバンでしたが、教育長の出席も多くあり、課題を共有することができました。

5/12

【県教育委員会】



県教育委員会での懇談

5/13

【阿武】【萩】

今年度は「教育予算の大幅増額」「少人数学級の実現・教職員定数の抜本的改善」「保護者負担軽減」「ジェンダーフリーの視点での人権保障」をテーマに各市町教育委員会を回りました。

生理用品をトイレに置くことについては、昨年度からお願いをして回っています。阿武町では実際に昨年度置いてみたことで、今後もトイレに置く自治体が増えることを望みます。

5/17

【和木】【岩国】【周防大島】
【柳井】【田布施】



周南の様子は日刊新周南で取り上げられました！

5/19

【周南】【下松】【光】
【平生】【上関】

学校が始まって教員の数が足りていない「教育に穴があく」状態が今年度も全国的に起こっています。山口県内の小中学校や特別支援学校でもいくつか報告がありました。担任が足りないなどの状態ではないとはいえ、一行も早い対策が求められます。

I C T関連については、機器は全市町で充実させていますが、通信費負担は個人負担もあるところもあり市町で差があります。保護者負担軽減の面からも、予算に加えてほしいと訴えました。

5/24

【防府】【宇部】【山陽小野田】
【美祿】【下関】

ジェンダーフリーの視点をもつことは、どの市町でも一定考えているようです。研修を行うだけでなく、制服の自由を取り入れるなど、具体的に動いている自治体もいくつかありました。今後も少しずつ広がっていくことを期待します。

今年度は多くの市町で地域の方々の参加があり、要請にとっても重みが出ました。来年度以降のキャラバンも多くの人を集めた要請を行います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

5/27

【山口】【長門】



長門市は教育長室にて要請書手交・懇談

岩国の教育を考える会・下関の教科書問題を考える市民の会も活動しています！

<岩国>

岩国教科書裁判は4月27日に2回目、7月20日に3回目の口頭弁論が開かれました。3回目では原告からの意見陳述の後、証人尋問の申請をしましたが、裁判長からは却下されました。

次回裁判期日は10/12(水)11時からとなりました。そして、場合によっては、五回目の口頭弁論で判決となるとのことです。



<下関>

下関の中学校で昨年度から使用が始まった育鵬社の歴史教科書。次回採択では絶対に阻止しようと『下関の教科書問題を考える市民の会』(県民会議加盟)は教育長への申し入れ、学校門前での宣伝ビラ配布、教育長との懇談、教育委員会傍聴など精力的に取り組んでいます。特に力を入れているのは現役の社会科教員を講師にしての学習会です。この8月に4回目を開催、毎回多くの市民・教員が参加して、「やっぱり育鵬社版はだめ」と確認しています。引き続きこうした取り組みを粘り強く続けていきます。ただいま会員募集中です。よろしくお願いします。

教育全国署名を集めよう！ 11月末までに！

少人数学級の実現・
教育予算増額・教育費の
父母負担軽減を！



教育県民会議 総会・学習会

2022年9月19日(月・祝)13:30~16:00

教育会館5F 第1研修室

学習会 「学校現場のICT環境を考える」

総会 13:30~14:20

学習会 14:30~16:00

小・中学校、高校の教員や生徒、保護者を交えてシンポジウムを開催します。

会場の皆様とも一緒に考え、現状を知る場にしましょう！

